

2023年(令和5年) 盆踊り大会で盛り上がりましょう!

壬生川地区人口 6月末現在  
(先月比)

男性 2,245人 (±0)  
女性 2,416人 (-11)  
合計 4,661人 (-11)  
世帯数 2,243戸 (-7)

# 壬生川公民館だより 8月

〒799-1341 西条市壬生川 200 番地  
TEL・FAX 0898-64-2202  
E-mail nyugawa-k@saijo-city.jp



西条市役所のホームページには  
カラー版を掲載しています。

## 壬生川の夏が帰ってきた!



# ふる里づくり

# 盆踊り大会

壬生川の夏の風物詩「ふる里づくり盆踊り大会」を開催  
します。皆さんお誘い合わせの上、ぜひご来場ください。

### 8月19日(土)

## 壬生川小学校 体育館

※雨天決行

### 子ども広場:午後6時~

(ゲームコーナー・ガチャガチャなど)

※一部有料・数に制限あります。お早めに

### 盆踊り大会:午後7時~

盆踊りに参加された方にはプレゼントが!

### お楽しみ抽選会:盆踊り終了後

餅投げの代わりに抽選会

豪華賞品?が当たるかも!

お楽しみに♪

## 踊らにゃソソソソ!

【8月のごみ収集日】 当日の朝8時まで 決められた場所にお出してください。

◆古紙(新聞紙・ダンボール・雑誌・雑がみ) . . . . . 2日(第1水曜日)

◆ガラスびん・ペットボトル・スプレー缶・カセット式ガスボンベ . . . 9日(第2水曜日)

※粗大ごみは申し込み制で戸別収集(有料)となっております。



お気をつけください!

8月15日(火) もえるごみの収集は **お休みです!**



## 8月の主な行事予定



日	曜	行 事
5	土	放課後子ども教室(お菓子づくり)
7	月	休館日
8	火	盆踊り練習日 10:00~
11	金	休館日・山の日
14	月	休館日
19	土	ふる里づくり盆踊り大会 (壬生川小学校) 子ども広場 18:00~ 盆踊り大会 19:00~
21	月	休館日
22	火	人権・同和教育講演会 ※PTA対象 (壬生川小学校) 19:00~
24	木	壬生川地区人権・同和教育懇談会 ※対象 壬生川地区住民のみなさん (壬生川小学校) 10:00~ 第2回公民館協力委員会 19:00~
26	土	放課後子ども教室(AGOであそぼ)
28	月	休館日
29	火	「スマホ教室」 14:00~

8月24日(木)午前中は、行事のため  
公民館事務所を閉めますのでご了承ください。

## 講座・教室のご案内

### 壬生川地区 人権・同和教育懇談会 「江戸時代の身分制度について」 壬生川小学校で学びませんか

6年生の担任の先生が「電子黒板」や、「デジタル教科書」を使って、子どもたちと同じように授業をします。  
あなたも「令和の学習方法」を体験してみませんか。

日時:8月24日(木)10時~11時  
場所:壬生川小学校6年生教室  
(運動場側校舎1階)  
お申込み:壬生川公民館 TEL 64-2202  
※教室はエアコン完備です。

### 「スマホ教室」



※申し込みは、終了しています。  
申し込まれた方は、忘れずご参加ください。  
日時:8月29日(火)14時00分~  
場所:壬生川公民館 学習室3  
持参物:お使いのスマートフォン・筆記用具



### —巨大地震による倒壊から命を守るため 耐震補助制度の活用を—

#### 木造住宅の耐震診断・耐震改修で大規模地震に備えませんか

ご自宅が地震に対し、どの程度耐えられるか知り、対策することは大切です。

西条市では、木造住宅の地震に対する安全性の向上を図るため、

- ・建物の耐震調査を **3,000 円**の費用で診断できる事業
- ・建物の耐震改修工事費用に**最大 100 万円**の補助金を支援する事業を実施しています。

※耐震診断の負担額は 3,000 円ですが、  
診断結果を急ぐ場合は、9,900 円の負担となります。

#### 【対象となる住宅】

○昭和 56 年 5 月 31 日以前に着工された一戸建て木造住宅

【申込期間】募集中(7/25 予定)~令和 5 年 12 月 4 日(月)

【お問合せ】市庁舎 3 階 建築審査課 建築審査係

TEL 0897-52-1558

### シルバー人材センター 新規会員募集

60歳以上の  
シルバー世代が  
元気に活躍しています。



日々の生きがいに、地域社会への貢献に、空いた時間でOK! 今こそシルバー人材センターで元気に活躍しませんか。

入会の方法など、お気軽にお問い合わせください。

(問合せ先)

西条市小松町新屋敷甲 496  
(小松サービスセンター3階)

公益社団法人  
西条市シルバー人材センター  
電話 0898-76-3670

第1回公民館協力委員会



6月22日(木)、今年度第1回目の「公民館協力委員会」を開催し、予算や事業計画、各行事につき、意見交換をしました。  
協力委員の皆さま、1年間よろしくお願いいたします。

青少年健全育成協議会

青少年の健全育成を推進するための活動を行う「壬生川地区青少年健全育成協議会」、6月30日(金)に役員会、7月11日(火)に総会が開催されました。  
総会では、参加された関係各機関の情報交換の場となり、一層連携が深まる会となりました。



壬生川放課後子ども教室

6/17(土) 防災キッズ



防災士の方から、数々の防災用品の説明を受けた後、防災非常食の試食をしました。



6/24(土)・7/8(土) AGO であそぼ ABC



教室が始まる前から子どもたちは先生と英語で挨拶。英語の歌を歌ったり、ゲームをしたり、楽しみながら英語が身についているようです。



公民館ってどんなところ？  
2年生が探検に！



6月29日(木)、壬生川小学校2年生の児童が公民館の見学に来てくれました。調理室の大きなお鍋や、お茶室があることにビックリ。かわいい笑顔を見せてくれました。



梅雨深し 鋏の錆びる 大手門  
県道に泥散らばりぬ田植時  
音と言ふ音呑みこんで夜の代田  
黙々と石工研ぐ梅雨の蝶  
夏草や堤に山羊の繋がれて  
六月の綿虫父の忌なりけり  
雨あとの草立ち上る沖縄忌



矢野悦子 丸山英子 福本実子 木原美寿子 岡部和代 石原宏子 稲井卓機

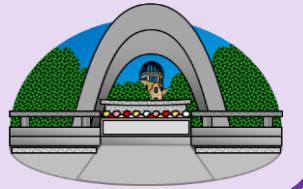
ひうち句会

(順不同)

黙とうのお願い

原爆死没者ならびに戦争で亡くなられた数多くの方々のご冥福と平和を祈念するための黙とうに、ご協力をお願いいたします。

- ▶ 広島平和記念日 : 8月6日(日)午前 8時15分から1分間
- ▶ ながさき平和の日 : 8月9日(水)午前11時 2分から1分間
- ▶ 戦没者を追悼し平和を祈念する日 : 8月15日(火)正午から1分間



~毎月10日は人権を考える日~

愛媛水平社創立100周年



(令和4年)3月、全国水平社が創立されて100年を迎えました。100年前の1922年(大正11年)3月3日、全国の被差別部落の人々約3千人が、岡崎公会堂(京都市)に集まり、全国水平社の創立大会を開きました。この大会は、被差別部落の人たち自身のみならず、「すべての人たち」の人権と自由を保障することへの強い願いが込められた大会であったのです。「すべての人」が差別問題を「わがこと」としてとらえ、すべての人間が差別解消に取り組まなければならないという強い願いを発信した大会でした。

1923年(大正12年)、温泉郡(現東温市)出身の松浪彦四郎氏らが4月18日松山市において愛媛県で最初の全国水平社支部発会式を挙行了しました。いわゆる全国水平社支部としての愛媛水平社が誕生して、100年目となります。

愛媛県人権対策協議会ポスター

「先駆者たる君が功績は石鎚の峰の如く不滅の光芒を放つ」  
(林田哲雄顕彰碑から 小松町)



これは、農民運動家であり、小作争議や部落解放を指導し、戦後衆議院議員となった林田哲雄氏の顕彰碑に書かれている一文です。林田哲雄氏は、1899年に小松町に生まれ、小松小学校、西条中学から大谷大学に入学しますが、中退し、故郷で社会運動を始めました。

1922年の水平社創立大会に出席し、1924年第1回周桑郡水平社大会を開催し、演説を行うなど愛媛県内で水平運動を起こしました。その後、全国に農民運動が起こるや否や、水平運動、農民運動、労働運動を結合した運動(三角同盟)にしていきました。

当時、周桑郡では、全農家の85%が小作農民でした。小作農民は高額な小作料を地主に払わなければならない、生活は困窮していました。被差別部落の大半は小作農民であり、部落差別と地主制の二重の差別と支配を受けていたこととなります。

林田哲雄氏は、すべての底辺に置かれ差別に苦しむ人々の解放を願い、運動を行いました。警察に検挙されること70余回、投獄されること5年余りと言われていました。さらに、妻・末子は生計を支えるために助産婦として働き、農民組合の書記の人たちと共に林田哲雄氏を支えました。

戦後、GHQの指揮のもと、日本政府によって「自作農創設特別措置法」が1946年(昭和21年)10月に成立しました。政府が地主から安く小作地を買い取り、小作人に売り渡すことにより自作農をつくっていきました。これにより、封建的な地主制度は完全に崩壊し、戦後日本の農村は自作農民がほとんどとなりました。戦後の農地改革は、戦前の林田哲雄氏を代表する農民運動家や多くの小作農民、被差別部落民の運動が大きく影響したであろうことを決して忘れてはなりません。

「石水君、私は部落解放運動と農民運動を一生背負ってやってきた。しかし、もう、わしの命はいくばくもない。わしが生きていたということ、中山川の石でもいいから残してくれや。」  
(「社会党の旗のもとに石水伴清42年のあゆみ」1992年 日本社会党今治総本部)

今治の県会議員の石水伴清氏に以上のような言葉を言い残し、1958年(昭和33年)60年の生涯を閉じられました。  
(参考・参照:愛媛県人権対策協議会西条市支部の資料、他)